

科目名	デザイン演習B							年度	2025
英語科目名	Design Studio B							学期	前期
学科・学年	マンガ・アニメーション科4年制 キャラクターデザインコース/マンガコース 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	山下 恵/末永 和也	教員の実務経験		有	実務経験の職種		美容師・カラリスト		
【科目の目的】 ゲーム業界就職に必要な色彩演習を通して色彩論を学び、色彩検定3級～2級取得につなげるスキルを習得することを目的とする。									
【科目の概要】 色彩構成や表現技法などを学び、色彩能力検定取得を目指します。									
【到達目標】 到達目標A：色彩理論と活用技術が結び付き、使いこなせる。 到達目標B：基本の配色や応用の配色を、よく理解して使いこなせる。 到達目標：C配色方法や、その種類をよく理解する。									
【授業の注意点】 持ち物を忘れないで下さい。：筆記用具・A4スケッチブック・199a新配色カラーカード・スティックのり・はさみ 課題提出締め切り日は守ること。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。作画は量なので、多く描けるように努力すること。 状況により内容が変更になる場合があります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	色彩理論と活用技術が 結び付き、使いこなせ ている		色彩理論と活用術の結 び付きを理解はしてい る		色彩理論と活用技術が 結び付いていない				
到達目標 B	基本の配色や応用の配 色を、よく理解して使 いこなせている		基本の配色や応用の配 色を理解している		基本の配色や応用の配 色を理解できていない				
到達目標 C	配色方法やその種類 を、よく理解できてい る		配色方法やその種類 を、一応理解できてい る		配色方法やその種類 を、理解できていない				
【教科書】 参考書・参考資料等は授業中に指示する									
【参考資料】 持ち物：筆記用具・A4スケッチブック・199a新配色カラーカード・スティックのり・はさみ									
【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン演習B			年度	2025
英語表記		Design Studio B			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法
1	色への導入	各色から受けるイメージを書く	1	色で自己紹介	自分を客観的にみて色に例える	3
			2	単色のイメージ	色から受けるイメージを自己表現する	
2	色のでき方	色はどのようにして作られているのか	1	有彩色と無彩色	違いを理解できた	3
			2	純色と原色	違いを理解できた	
			3	純色と白・黒・灰の混色	どのような色ができるのかを理解できた	
3	色のもつ性格	色の三属性について学ぶ	1	色相	属性を理解できた	3
			2	明度	属性を理解できた	
			3	彩度	属性を理解できた	
4	色が見える仕組み	色はなぜ見えるのかについて学ぶ	1	光・物体・目	3つの条件により色が見えることを理解できた	3
5	PCCSと混色	PCCS・混色について学ぶ	1	PCCS	日本色研配色体系について理解できた	3
			2	混色	加法混色と減法混色を理解できた	
6	色の不思議	色の感情効果と心理効果を学ぶ	1	暖色系・寒色系	色相による効果を理解できた	3
			2	膨張・収縮	明度による効果を理解できた	
			3	派手・地味	彩度による効果を理解できた	
7	対比	色相・明度・彩度対比について知る	1	色相対比作成	目視により色相対比を理解できた	3
			2	明度対比作成	目視により明度対比を理解できた	
			3	彩度対比作成	目視により彩度対比を理解できた	
8	五感	五感からイメージで配色をする	1	味覚	各味覚の感覚を色で表現する事ができた	3
9	基本の配色 1	色相から考える配色をする	1	同一色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3
			2	類似色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた	
10	基本の配色 2	色相から考える配色をする	1	対照色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3
			2	補色色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた	
			3	各色相配色（再度）	カラーカードワークと説明で理解できた	
11	基本の配色 3	トーンから考える配色をする	1	同一トーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3
			2	類似トーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた	
12	基本の配色 4	トーンから考える配色をする	1	対照トーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3
			2	各トーン配色(再度)	カラーカードワークと説明で理解できた	
13	MIX配色	色相とトーンから考える配色をする	1	色相とトーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3
14	応用の配色 1	各配色の法則性を知る	1	グラデーション	カラーカードワークと説明で理解できた	3
			2	アクセントカラー	カラーカードワークと説明で理解できた	
			3	セパレーションカラー	カラーカードワークと説明で理解できた	
15	応用の配色 2	各配色の法則性を知る	1	ナチュラルハーモニー	カラーカードワークと説明で理解できた	3
			2	コンプレックスハーモニー	カラーカードワークと説明で理解できた	
			3	ピコロール・トリコロール	カラーカードワークと説明で理解できた	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	デザイン演習B							年度	2025
英語科目名	Design Studio B							学期	前期
学科・学年	マンガ・アニメーション科4年制 アニメーションコース 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	山田伸一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アニメーター		
【科目の目的】 アニメーション制作における基礎的知識の理解と技能を実践的に活用できるようになり、自分の作品に適用できるようになること									
【科目の概要】 アニメーション制作における基礎的な作画技法や作画のプロセスを学びます。									
【到達目標】 アニメの用語の意味を理解し、教員や友人とアニメ用語を適切に使った打ち合わせができるようになることを通して実践的なアニメ表現・演出ができるようになること									
【授業の注意点】 授業進行に応じてプリント配布の他、web上の資料を参照する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	アニメーション原理と基本的な技法を理解し、応用できる		アニメーション原理と基本的な技法を理解できる			アニメーション原理と基本的な技法を理解していない			
到達目標 B	アニメーション制作のプロセスについて理解、把握できる		アニメーション制作のプロセスについて理解できる			アニメーション制作のプロセスについて理解していない			
到達目標 C	多様なスタイルやジャンル、制作手法を知ることができ、制作に活用できる		多様なスタイルやジャンル、制作手法を知ることができる			多様なスタイルやジャンル、制作手法の理解が不足			
【教科書】 参考書・参考資料等は授業中に指示する									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン演習B				年度	2025
英語表記		Design Studio B				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	修了制作を進めるにあたっての注意点と授業の進め方について	アニメ課題制作の意義を知る	1	アニメ動画制作フロー	アニメ動画制作フローを理解する	3	
2	動画の書き方	動画の描き方	1	動画 線を引く	動画課題の描き方を理解する	3	
3	動画課題(1)	動画課題1制作方法	1	実践演習動画課題1	動画課題1を制作できた	3	
4	動画課題(2)	動画課題2制作方法	1	実践演習動画課題2	動画課題2を制作できた	3	
5	動画課題(3)導入	動画課題3制作方法	1	実践演習動画課題3	動画課題3を制作できた	3	
6	動画課題(3)発展	動画課題3制作方法	1	実践演習動画課題3	動画課題3を完成、プレビューできた	3	
7	動画課題(4)	動画課題4制作方法	1	実践演習動画課題4	動画課題4を制作できた	3	
8	動画課題(5)	動画課題5制作方法	1	実践演習動画課題5	動画課題5を制作できた	3	
9	動画課題(6)導入	動画課題6制作方法	1	実践演習動画課題6	動画課題6を制作できた	3	
10	動画課題(6)発展	動画課題6制作方法	1	実践演習動画課題6	動画課題6を完成、プレビューできた	3	
11	動画課題(7)導入	動画課題7制作方法	1	実践演習動画課題7	動画課題7を制作できた	3	
12	動画課題(8)発展	動画課題8制作方法	1	実践演習動画課題8	動画課題8を制作できた	3	
13	原画レイアウト(1)	レイアウト制作方法	1	原画レイアウト	レイアウトを制作できた	3	
14	原画レイアウト(2)	原画制作方法	1	原画レイアウト	原画を制作できた	3	
15	修了制作と今後の作品制作に向けて、まとめ	振り返りと不足点把握	1	まとめと不足点補足	授業まとめと不足点を学べた	3	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							